

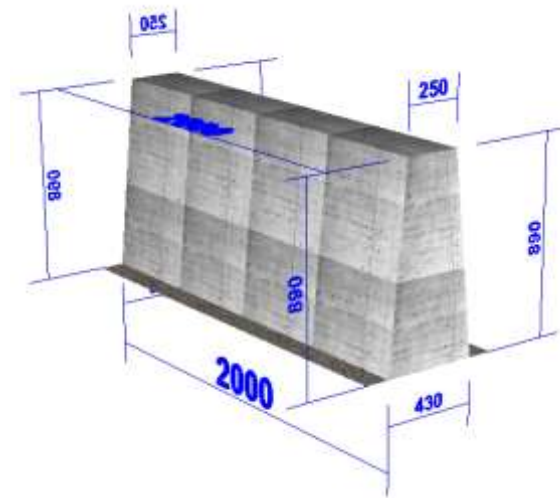


防護柵の概要

防護柵の種類

剛性防護柵

- ① 単スロープ型、フロリダ型の設計計算が可能です。
- ② 防護柵基礎を含めた安定計算が可能です。
- ③ 衝突荷重は自動設定、条件指定、直接指定から選択可能です。
- ④ 転倒及び滑動照査に対して受働土圧を考慮することができます。
- ⑤ 部材設計は曲げ応力度に対しての照査を行います。

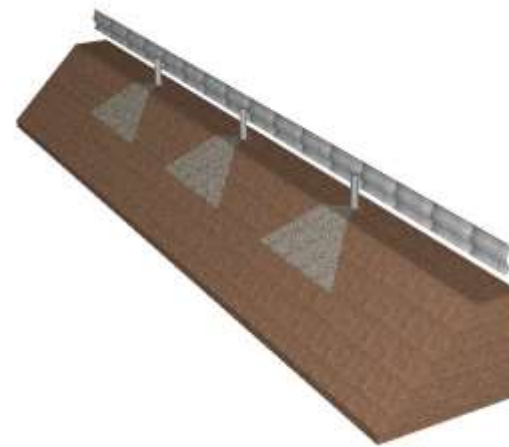


防護柵の概要

防護柵の種類

たわみ性防護柵

- ① 防護柵種類を標準型・耐雪型(路側用, 分離帯・歩車道境界用)から選択可能です。
- ② 支柱が関与する背面土質量が標準仕様を満たしているかを照査します。
- ③ 標準仕様を満たしていない場合に、対応策(根巻きコンクリート補強、連続基礎、支柱間隔短縮)を検討することができます。
- ④ 対応策の内、根巻きコンクリートと支柱間隔短縮については自動計算を行うことが可能です。



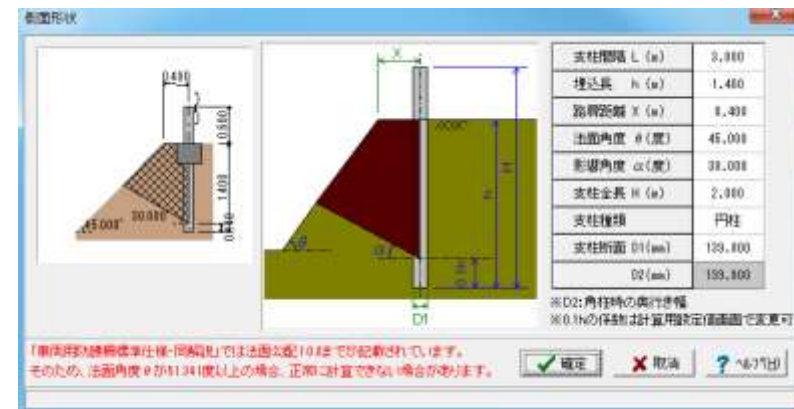
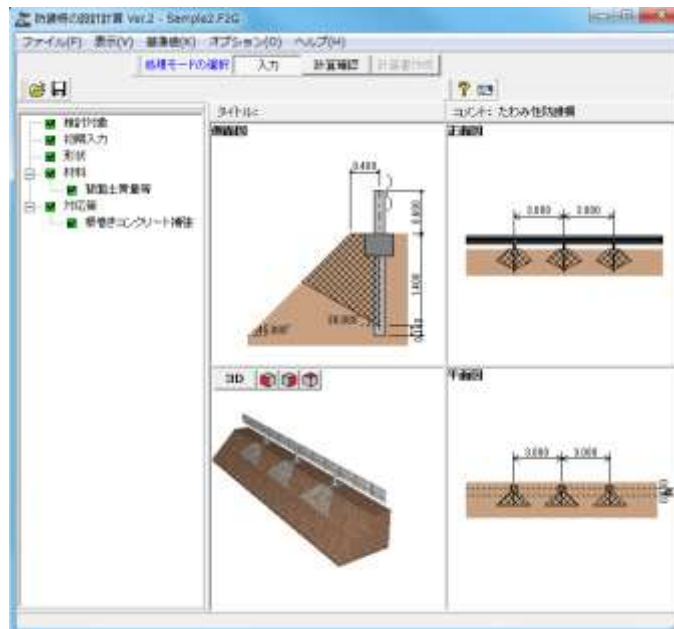
防護柵の設計計算Ver.2

定価(税別) ￥80,000.-

車両用剛性防護柵の設計計算を行うプログラム

適用基準

- ・車両用防護柵標準仕様・同解説(H16.3) (社)日本道路協会



FORUM 8
フォーラムエイト